

TOP INTERVIEW

The

# VISION

KYORITSU

代表取締役社長兼COO

景山 豊

Yutaka KAGEYAMA

2004年共立印刷株式会社入社。  
21年4月代表取締役社長兼最高執行責任者(COO)就任。  
22年10月、持株会社体制への移行に伴い、  
株式会社KYORITSUの代表取締役社長に



## 多角的事業展開で 社会に貢献、持株会社 KYORITSUへ

——2022年10月1日、共立印刷は持株会社「KYORITSU」として新たなスタートを切りました。HD化の狙いを教えてください。

景山 共立印刷の設立は、1980年。「日本一品質の高い印刷会社をつくろう」という創業者、野田勝憲(現・KYORITSU代表取締役会長)の挑戦から始まりました。お客様の大切な販促物を制作するに当たって品質は要であり、その思いは今も変わりません。

一方、時代は変化します。私が代表取締役社長に就任した21年4月から、印刷事業の構造改革を進めつつ、環境に特化したM&Aや既存デジタル媒体の強化にも着手して、事業領域の拡大に努めてきました。また、ESGへの取り組みも必須です。敷地約3万坪の本社工場に太陽光パネルを設置するなど脱炭素を進めています。今後はさらなる取り組み

も求められるでしょう。

変わらぬ品質追求、事業領域の拡大、そして社会貢献。それらの意思をグループ全体で明確化して、市場にアピールするため、KYORITSUを純粋持株会社とするホールディングス体制へ移行し、新たなスタートを切ることになりました。

——KYORITSUの事業は、「印刷」「BPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング)」「デジタル」「環境」の4領域。それぞれの戦略を教えてください。

景山 印刷事業では、大口トタカロゴや書籍・雑誌、折り込みチラシといった高品質で多種多様な製品を、企画・制作から印刷、製本・加工、管理発送まで一括して行う総合印刷事業を全国で展開しています。構造改革を進めながら、世の情勢が移ろっても変わらずお客様に価値を提供するべく、もう一度原点に立ち返るた



SPOTWRITEサイト <https://www.spotwrite.site/>



工場に設置された太陽光パネル

(証券コード: 7795)

めに、昨年、「基本の徹底」「魂込めて品質保証」「変化への対応」からなる「共立印刷基本3原則」を策定しました。

工場を含め、部署を超えた情報共有を徹底することで品質を追求しつつ、物流システムを改善して原燃料費の無駄をなくしたり、再生エネルギーを導入したりと、環境負荷低減にも努めています。

また、販促物のプロフェッショナルとしてお客様の課題を解決してきた実績とノウハウを生かし、BPO事業にも注力しています。BPO事業ではビッグデータやDX（デジタルトランスフォーメーション）を駆使してターゲットをきめ細かく絞り込み、販促物の提案から制作を一貫して行っています。例えば10万人のユーザーがいるカタログなら、購買履歴から一人ひとり異なる内容に編集して、10万種類のカタログやダイレクタメールを作ることが可能です。媒体は紙ですが、発想はデジタルです。こうした多品種大口印刷は、わが社が得意とするところ。お客様の事業と向き合い続けてきたからこそ実現したサービスを、さらに伸ばしていく考えです。

——デジタル事業の展開は？

景山 既存のデジタル事業を強化す

るとともに、電子書籍市場で注目されるタテスクロールコミックス分野にも進出しております。すでに専門のグループ会社を設立しており、22年10月には自社投稿サイト「SPOTWRITE」を稼働させました。

この事業では、企画から編集、制作、配信、商品化まで幅広いサービスを展開します。漫画は1人の作家が作品を作ることが一般的ですが、タテスクロールの世界では、原作やネーム、作画、色付けなどを分業してチームで作成します。こうしたチームを増やして作品数を充実させるとともに、作家や作品の発掘・育成などIIP（知的財産）事業としても拡大させる方針です。

——環境事業は異色な印象です。

景山 当社にとっては新しい領域への挑戦です。KYORITSUグループに、微生物の働きで使用後に水と二酸化炭素に分解される「生分解性フィルム」の製造・販売会社を加えました。主な用途は、畑に敷く農業用マルチシート。これまで農家の方は農作物の収穫後、自分でシートを撤去して、有償で業者に回収してもらわなければいけませんでしたが、しかし、このシートは一定期間で分解されて消えてなくなります。畑に張ったシートは、トマトやレタスなどの

野菜を収穫した後に葉や根と一緒にすき込むだけで処理できるため、回収作業の省力化になります。環境にやさしいだけでなく、高齢化した農家の負担を減らして農業従事者の減少に歯止めをかけることにもつながり、地域社会に貢献しています。

将来は、この生分解性フィルムを活用した新しい製品やソリューションを展開していく予定です。

環境事業における工場運営をはじめ、既存事業のシナジーを生かしたノウハウで今後も柔軟に新規事業を展開していきます。

——HD移行で多角化が加速しそうですね。

景山 社会構造の変化やインターネットの普及によって印刷市場が縮小傾向にある点は課題ですが、環境の変化はわが社の技術やノウハウを別領域に広げるチャンスだと捉えています。持株会社体制への移行に当たり、KYORITSUは「知行合一」の精神の下、「本質を見抜き、感謝を忘れず、挑戦し続ける」ことを新しい経営理念に掲げました。既存事業にとどまらず、新しい分野にも挑戦し続けて時代の変化に対応することで、企業価値を高めていく所存です。